

目標達成計画

作成日: 平成 28年 1月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	毎日業務に追われ、思うように利用者にレクリエーション・見守り・散歩・傾聴等のサービスが行えない。	清掃・花壇作り・レクリエーション・見守り・散歩・傾聴等地域に向けボランティア活動を定期的に継続してもらえるような仕組みをつくる	まず、地域包括支援センターや日赤奉仕団・社会福祉協議会などボランティア活動を行っている所に問い合わせをして進めて行く。ご家族や利用者の友人等様々な方面から出来そうな事から活動を推進具現化していく。	12ヶ月
2	8	ほとんどの利用者が入所前の馴染みの関係が薄らいで友人等の訪問が少なくなっている。	定期的なボランティア訪問のように利用者一人に一人以上入所前の馴染みの方が月に一回以上定期的に訪問してお話や散歩を一緒に出来るよう協力体制が出来る。	ご家族へご本人の友人等に訪問の働きかけをしていただけるよう訪問時に声掛け、と同時に毎月の月次報告書にも記入してご家族に推進の協力をお願いして行く。全スタッフは訪問者に又来て頂けるよう声掛けと雰囲気作りをする。	12ヶ月
3	13	火災避難訓練を昼間時に夜間の想定で行っていて現実的ではない。	少しでも現実的な避難訓練をする。	実際に夜間暗くなってから行うことは当日訓練実施後の利用者の不穏が想定されるのでむづかしいところではあるが夜間時ベッドで寝て頂いた状況から始めるなりして、利用者にも出来る限り夜を想定した訓練を説明して行うようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。